

令和3年2月25日

保護者の皆様

令和2年度 学校評価について

県立串木野養護学校長

早春の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。さて、2学期末に実施しました学校評価において、今後の改善につながる貴重な御意見や励ましをいただき、ありがとうございました。その結果について御報告します。

今年度は、職員の自己評価、保護者のアンケートの他、児童生徒のアンケートも実施しました。

職員の自己評価では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、交流学习やPTA活動など実施の難しかった項目を除き、その対策や通学バス、服務規律の項目を付加しました。また、食育に関する項目や進路指導、研修などのように、個別に抽出したり、文言を明確にしたりして内容の焦点化を図り評価する項目を設定しました。いずれの項目も高い評価（評価4と評価3の合計で80%を越えている）を得ていましたが、引き続き人権意識の向上や障害の多様化に対する指導の工夫、職員の危機管理の意識向上等、今後さらに検討を重ね、改善に努めていきます。

保護者のアンケートでは、どの評価項目も高い評価を得ましたが、その中で「進路指導」、「校内の施設設備」については、以下に記載しましたので御覧ください。

児童生徒のアンケートは、小学部から高等部までの57人に実施しました。これからも、一人一人の言葉に丁寧に耳を傾け、気持ちに寄り添った指導に努めてまいります。

集計結果は本校のホームページに掲載しますのでご覧ください。

今年度は、昨年度の重点課題「挨拶や人権意識に配慮した言葉遣い」の実践を踏まえながら、学級経営の柱となる「学級経営目標」、「学級目標」、「学級経営目標の評価」を設定（見える化）して取り組みました。学級担任の教育姿勢や、取組の視点が具体的で分かりやすく、年間を通して一貫した取組を意識的に行うことができました。

<進路指導について>

進路指導の評価（項目8）では、「あてはまる」が44%（前年度36%）、「ややあてはまる」が38%（前年度37%）の回答がありました。昨年度の結果と比較し、進路指導の取組に対する御理解が深まっていると考えられます。小学部段階からのキャリア教育を視点に進路指導の充実が図られるよう、引き続き情報を発信していくと共に、学級・学部PTAや個人面談等の機会を捉えて、保護者の御不明な点や御心配な点などを聞き取り、解決策や情報等を進路係と連携して提供していきます。

<校内の施設設備について>

本校は開校して48年目となり、施設・設備の老朽化への対応について毎年、関係機関に要望を出しております。昨年度は体育館下のプレイルームの改修が終了し、今年度は、寄宿舎の改修や建物の補修、塗装等の改善を行っています。また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、事務室等、校内数か所に非接触型体温計の設置をしました。

今後も引き続き予算要求し、改善に向けて努力してまいりますので、御理解・御協力をよろしくお願いします。お気づきのことがありましたら担任を通じてお知らせください。

<その他>

本校の取組について御意見・御指摘いただきましたことは全職員にその内容を周知し、配慮すべきことについて指導及び共通理解をしました。貴重な御意見ありがとうございました。今後もお気づきの点がありましたら本校職員にお知らせください。

